



農〇連携事業
(田んぼの学校)

宇土市立緑川小学校 PTA

宇 土 市

地域みんなで支える 小学校の農業キャリア教育

地域全体で子どもを育てるという考えのもと、地域住民・農家と連携して「田んぼの学校」を通して、苗作りから収穫までの一連の米づくりを体験する学習に取り組んでいます。

活動の背景と目的

子どもたちに農業や地域の歴史・風土に関心を持ってもらうために、学校が米づくり等の基本的な作業に責任を持って取り組むプログラムを地域とともに実施しています。

この活動を通じて地域資源や環境保全の大切さを理解できる子供に育てることを目指しています。

活動（事業）内容

熊本県中山間地域サポート推進事業（田んぼの学校）

平成 30 年度・令和元年度

■米作り（もち米）農業体験

（塩水選、苗床づくり、田植え、水管理、草取り、稲刈り）

＊5年生が担当となり、全校生徒が参加

■サツマイモ苗植え、芋ほり

■地域住民交流（収穫祭：餅つき）の実施

米づくりを通じた地域への参加として、公民館活動の餅つきにも子どもたちが作った米を使い、一緒に餅つきを行っている。



種籾の選別作業（塩水選）の指導



手作業と機械作業での稲刈り

連携団体

学校運営協議会委員等学校支援者
地域住民（公民館活動との連携）
宇土市農林水産課

現在の活動と今後の展望

米づくりを通して、子どもたちに農業、水や地域について学んでもらいたいと考えています。

地域で子どもを育てる活動として、今後も活動を継続していきたいです。



サツマイモの苗植え

【連絡先】熊本県むらづくり課
TEL：096-333-2415

【情報発信サイト】
HP:<https://www.city.uto.lg.jp/school/midorikawa-es/>

ポイント1 種籾の選別から稲刈りまで、1年生から6年生全員が参加・体験

学校に隣接する農地を借りて、地域の農業者等の協力のもと、種籾の選別、苗床づくり、田植え、水の管理、稲刈りまで、5年生を中心に全校生徒が参加し、稲作作業のすべてを体験できるようにプログラムが組まれている。



「田んぼの学校」で利用している水田



5年生による水管理作業

ポイント2 地域行事として、地域とのつなぎ役になる

学校（日程調整）、区長・公民館長（行事企画）、若手農業者（稲作指導）等と連携し、学校の行事のみならず地域の年間行事として、地域住民と一緒に米づくりや門松づくり体験などを実施しており、地域活性化に貢献。



稲わらを活用した門松づくりを通した地域間交流



子ども達が収穫した米を使って地域住民と餅つき体験

ポイント3 「田んぼの学校」卒業生の若手農業者も指導にあたる

「田んぼの学校」卒業生である若手農業者が農業指導を行うことで、農業キャリアの養成に役立てたり、地域のお年寄りも参加・協力する体制が構築されており、地域の継続的な取り組みとなっている。



地元の若手農業者の協力による稲刈り作業



子どもたちと地域の高齢者との交流活動



農〇連携事業
(田んぼの学校)

八三会・内田心見の会

山 鹿 市

新たな視点で 交流事業の継続にトライする

地域活性化のために都市農村交流に取り組んでいた「八三会」。活動を引き継ぐ「内田心見の会」は、地域住民と連携しながら、その活動を絶やすことなく、新たな交流活動を目指しています。

活動の背景と目的

農村集落の現状を都市住民に理解してもらい、生産者の顔が見える農産物をPRするために交流事業を実施し、今後の地域づくりや農業経営に活かしてきた「八三会」は、平成30年に解散。その思いを絶やすことなく、一人ひとりの顔が見える新たな交流活動の受け皿として「内田心見の会」は立ち上げられ、新しい視点を加えて、交流活動を模索し続けています。

活動（事業）内容

山鹿市菊鹿町農業体験交流

平成30年度（八三会）

- 都市住民を対象とした農業体験交流
(棚田で米づくり：田植え、稲刈りなど、年4回開催)
- 菊芋掘り体験

令和元年度（内田心見の会）

- 都市住民を対象とした農業体験交流
(棚田での米づくり：田植え、稲刈り、掛け干し体験)
- 交流事業
(稲の成長観察、栗拾い体験、菊芋掘り体験等)
- 収穫祭（餅つき体験）の開催
- *農産物の加工品開発のヒントを得ることを目的とした参加者アンケート調査の実施

連携団体

山鹿市、地元住民
福岡のフリースクール、熊本市内小学校関係グループ
など

現在の活動と今後の展望

地域の他団体と連携しながら、相良観音や菊鹿ワイナリー等の地域資源の活用など、新たな視点を加えて、内田地区を訪れる人や子どもたちに、この地域の自然や歴史を教えるため、交流活動を継続していきたいです。



八三会での交流活動



掛け干し体験



栗拾い体験

【連絡先】 熊本県むらづくり課
TEL：096-333-2415

ポイント1 新たなカタチで「ハ三会」の交流事業を引き継ぐ

農業体験などの都市農村交流事業を始めた「ハ三会」の意義や思いを引き継ぎ、これまで続けてきた交流活動を次につなぐために有志が「内田心見の会」を作り、活動を継続している。



棚田を守るための交流・体験活動の継続



棚田米を使った餅つき体験

ポイント2 地元の協力農家が棚田での活動や管理を支援

事業の企画運営は、事務局として「内田心見の会」が行い、棚田での活動や管理は、地域の協力を得て実施。



交流事業への地元農家の参加



地元農家による交流事業参加者への田植え指導

ポイント3 これまでの交流活動から生まれた応援団の活動支援

体験交流活動の参加者を募集する際は、地元と関わりのある外部の人材やこれまでの体験交流活動に参加された方が、参加者の呼びかけや情報発信などに継続的に協力している。



熊本市の小学生親子グループ参加の交流事業



長年続く福岡のフリースクールとの交流事業